

制服の改定について

中村地区内の各小学校の平成 29 年度 3 学期保護者会において、本校職員（校内検討委員）による「制服の見直しについて」の説明をさせていただきました。各小学校の教職員・PTA の皆様のご理解とご協力に厚く感謝申し上げます。

中学校の制服は、全国的に 1960 年代に制定されたようです。中村中学校では、残された資料から、昭和 37 年～41 年に制定されたものと思われます。制服の意義は、派手な服装がもたらす被服費の高騰を抑制し、生徒間の服装に対する競争意識や服装での経済的な格差をなくすことにありました。加えて、学校の生活の規律を保つことや統一感、生徒を指導する教員の負担軽減を目的として、全国的に制服を採用した経緯があります。公立学校におけるその意義は、現在でも大きくは変化していません。

本校では、現在の制服（または標準服）制定以来、見直しをした記録は無く現在に至っています。制定当時は、「標準服」の意味合いが強く、現在の制服を推奨してきたと思われますが、その後「制服」として明確に制定された経緯はわかりません。近年の生徒指導からは、すでに「制服」という認識が定着した上での生活指導が行われています。今も、標準服と制服の曖昧さがあながらも、販売等に係るほとんどすべてのことを、業者等に依存してきた点は学校として大いに反省すべき点であると考えています。

「制服」のマイナスイメージは、「個性がなくなる」、「自己主張できない」、「何を着ていくか考えないようになる」また、「服への興味・関心がなくなる」などが挙げられます。これらは生徒の社会性における不安要素ではありますが、今回の見直しに伴い、「生活のきまり」の中で明記する多様な着回しから、生徒の個性を尊重しながら、制服の役割を知ること大切だと考えています。フォーマルスタイルを知り、相応の着こなしから社会性を学び、防寒・防暑から機能や衛生、健康、安全を意識し、そして文化やコミュニケーション等々、服装には多くの学習要素が含まれているのです。「服」を通して思考力を培う生きた学習教材なのです。

* 「制服」の定義：学校が指定する服装

◇なぜ制服を見直すのか。

中村中学校には、「自主の精神」、「忘己利他」、「照于一隅」、「愛」など、校庭には石碑、校舎内には書が多くあります。これらは、中村中学校の歴史と伝統として、生徒や教職員、地域の方々の精神的態度のなかに流れています。これからも、先輩から後輩へと受け継いできたものに、その時代にあわせたイノベーションを加え、そしてまた受け伝えていかななくてはなりません。本校ロゴマークの作成や、平成 31 年度からの制服の見直しもこのような考えに基づくものです。

平成 29 年 6 月に、生徒や保護者の皆様に制服に関するアンケート調査の協力をお願いしました。この調査の背景には、夏の酷暑からのクール・ビズ、修学旅行での他校の制服、吹奏楽部の演奏会やコンクール、締結から 10 年が経過した姉妹校派遣事業など、子どもたちの“服装”について考える機会や場面が多くあり、現行制服の課題を明確にしたいという思いがありました。アンケート調査では、具体的な改善点や意見をいただき、学校としての課題を下記のように集約することができました。そして、夏のポロシャツの検討を先行させ、コストパフォーマンスを念頭に、素材やデザイン、着回しなどの改善を行っていくこととしました。また、ジェンダーの問題にも柔軟に対応できるようにしていきたいと考えています。

- ①夏の酷暑からのクール・ビズや冬の防寒
- ②価格の是正
- ③デザインや着回しの改善
- ④ジェンダーへの対応

制服の価格についても改善意見がありました。男子用は2016年の全国平均価格以下ですが、女子用は高く、価格面からも改善の必要性がありました。

制服の見直しは、平成31年度4月改定を目標に、今年の7月から、学校が主体となって推進をしていますが、素材やデザイン、着回し等に係る多くの意見を反映させるために、生徒による試着や話し合いをはじめ、中学校評議員・PTA代表や各小学校校長先生のご理解のもと、PTA代表、児童指導主任にご協力をいただき、中村中学校制服検討委員会を組織して検討をしてきました。デザインの詳細については、現在最終的な打ち合わせを進めていますが、販売価格は、現行制服比較で、大幅なコストダウンを実現することができました。

「服」は、生活を支える3要素「衣・食・住」の一つです。一般的には、「おしゃれ」という面から捉える場合が多く、生活を支えているという認識は「食・住」に比較すると薄い感じを受けます。しかし、学校生活における「服」は、豊かな心を育み、生きる力の育成のための教材です。今回の制服の見直しは、これまでの学校における服装の乱れに対する「生徒指導」から、生きる力を育てる「服育」への転換としても、大切な意義があると考えています。

◇制服のデザイン

デザインは、新制服のコンセプトから、ブレザーにスラックス・スカートに合わせます。夏用はポロシャツに、同デザインのスラックス、スカートになります。併せて、制服に係るきまり（生活のきまり）、特に着回しについては、生徒の個性を尊重し、多様な環境を実現できるよう検討をしています。今後デザインの詳細を決定し、ゴールデンウィーク以降、中村・長田小学校でサンプル展示を行う予定です。

《新制服のコンセプト》

「着やすさと伝統・知性」

コストパフォーマンスに優れ、体感温度の調節がしやすくお洒落で、機能的な制服。知性と品格、良き伝統を表す紺ブレ。ボトムは、「自主」の精神と思いやりをチャコールグレーで、歴史と伝統をチェック柄で表現した牧が丘の誇りと愛着を感じるデザイン。ブレザーの左胸には、中村中学校の頭文字「N」が本校生徒をアピールします。

*クール・ビズ期間中はノーネクタイ、ノーリボンになります。

◇新制服と販売店

制服は、夏用ポロシャツ（ワッペンと名字の刺繍）とボトム、冬用ブレザー（エンブレム、ネクタイ、リボン）とボトムです。女子のスラックスも準備いたします。取り扱いは、夏用ポロシャツを衣料商組合、ブレザーとボトムを（株）明石スクールユニフォームカンパニーに依頼することといたしました。ポロシャツの販売は衣料商組合です。ブレザーとボトムはベイシアを予定しています。今後、生徒・保護者にとってより好ましい取引環境を作り出していきたいと考えていますので、新規の販売店から、指定販売店としての申し入れ等がある場合は積極的に受け入れをしてまいります。ワイシャツ、ベスト、セーター等は、学校指定とはせず色で統一感を図ってまいります。

平成30年4月

真岡市立中村中学校長 菊地 諭美